

■題材について

本題材は、身近な相手へ贈るメッセージのスライド画面を装飾するために、形や色彩を組み合わせたり配置したりして模様をつくり構成する活動を通して、資質・能力の育成を目指すものである。本題材では、端末上の基本的な操作での制作とすることから、「技能」の指導及び評価を位置付けない題材とした。

■指導事項(例)「内容のまとめり」

【中学校】A表現(1)イ(ア)、B鑑賞(1)ア(イ)、[共通事項](1)ア、イ

【参照】中学校学習指導要領解説美術編 P160~161

■題材の目標(例)

【中学校】第1学年

- (1)・形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージなどで捉えることを理解する。([共通事項])
- (2)・身近な相手に贈るメッセージスライドの画面を装飾する模様をつくるために、自然や身近なものなどを基に主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練る。(A表現(1))
 - ・模様のデザインの調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。(B鑑賞(1))
- (3)・美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考えることなどを基に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。

何を基に主題を生み出すのか

何を感じ取るのか

何を考えるのか

何を考えるのか

どのような活動なのか

■題材の評価規準(例)

「知識・技能」	「思考・判断・表現」	「主体的に学習に取り組む態度」
<p>知 形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージなどで捉えることを理解している。</p> <p>何を基に主題を生み出すのか</p> <p>何を考えるのか</p> <p>何を感じ取るのか</p> <p>何を考えるのか</p>	<p>発 身近な相手に贈るメッセージスライドの画面を装飾する模様をつくるために、<u>自然や身近なものなどを基に主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練っている。</u></p> <p>鑑 模様のデザインの調和のとれた美しさなどを感じ取り、<u>作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</u></p>	<p>態表 美術の創造活動の喜びを味わい<u>楽しく美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考えた表現の学習活動に取り組もうとしている</u> <u>どのような活動なのか</u></p> <p>態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい<u>楽しく美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</u> <u>どのような活動なのか</u></p>

■指導と評価の計画(例) 4時間 (中学校第1学年)

●学習のねらい・学習活動	知・技	思	態	評価方法
<p>1. 鑑賞 (1時間)</p> <p>●日本や世界の文様を鑑賞し、文様の構成美に対する見方や感じ方を広げるとともに、形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージなどで捉えることを理解する。</p> <p>・様々な文様の鑑賞を行い、文様のデザインの調和のとれた美しさについて感じたことや考えたことを述べ合う。</p>	知 ↓	鑑 ↓ 鑑	態鑑 ↓ 態鑑	<p>知 発言の内容、Google スライド</p> <p>鑑 発言の内容、Google スライド</p> <p>態鑑 Google スライド、活動の様子</p> <p>鑑 文様のデザインに対する見方や感じ方を広げられたかどうかを評価する。【Google スライド】</p> <p>態鑑 楽しく文様のデザインに対する見方や感じ方を広げようとしているかを評価する。【Google スライド、活動の様子】</p>
<p>2. 発想や構想と制作 (2時間)</p> <p>●主題を生み出す</p> <p>・自然や身近なものなどから主題を生み出す。</p> <p>●構想を練る</p> <p>・主題を基に、調和のとれた美しさなどを考え、形を組み合わせたり配置したりする。</p> <p>●発想や構想を基に、創意工夫して模様をつくる</p> <p>・形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを生かし、作品を完成させる。</p>	知 ↓ 知	発 ↓ 発	態表 ↓ 態表	<p>知 Google スライド、発言の内容</p> <p>発 Google スライド、制作途中の作品</p> <p>態表 Google スライド、制作途中の作品、活動の様子</p> <p>知 作品から、形などの効果や全体のイメージで捉えることを理解しているかを見取り、評価する。【作品、Google スライド等】</p> <p>発 ここでは暫定的に評価し、授業外で、主題や構想の工夫などを記述したGoogleスライド等を完成作品と併せて再度見取り必要に応じて修正する。【Google スライド】</p> <p>態表 生徒が楽しく知識を活用しながら、発想や構想や制作の活動に取り組もうとする態度を評価する。【作品、Google スライド、活動の様子】</p>
<p>3. 鑑賞 (1時間)</p> <p>●生徒作品を鑑賞し、文様の構成美に対する見方や感じ方を広げる。</p> <p>・お互いの完成した作品を鑑賞し、感じたことや考えたことを説明し合い、主題と表現の関係や意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を広げる。</p>	知 ↓	鑑 ↓	態鑑 ↓ 態鑑	<p>知 Google スライド、発言の内容</p> <p>鑑 発言の内容、Google スライド、活動の様子</p> <p>態鑑 楽しく作品を鑑賞し、形などの効果や全体のイメージで捉えることを理解しようとし、造形的なよさや美しさを感じ取ろうとしたり、表現の意図と工夫などについて考えようとしていたりしているかどうかを評価する。【Google スライド、活動の様子】</p>
<p><授業外：題材終了後></p> <p>(標記について)</p> <p>※ <input type="checkbox"/> 指導の改善につなげる評価を行う。</p> <p>※ <input checked="" type="checkbox"/> 題材の観点別学習状況の評価の総括に用いる「題材の評価規準」</p>	知 ↓	鑑 ↓ 発		<p>知 完成作品や表現及び鑑賞の Google スライドなどから評価を再確認し、必要に応じて修正する。【完成作品、Google スライド】</p> <p>鑑 見方や感じ方が広がられているかを記述から見取り評価する。【Google スライド】</p> <p>発 発想や構想について、Google スライドの記述を完成作品と併せて見取り必要に応じて修正する。【完成作品、Google スライド】</p>